

すべての学校のニーズに応じて ～地域の教育力を支える学習・情報拠点～



小郡市立図書館（福岡県小郡市） <http://www.library-ogori.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	小郡市大板井136番地1
電話番号	0942-72-4319
人口（図書館が所在する市町村）	5.9万人
職員数（うち有資格者数）	15人（12人）
蔵書数	224,197冊
登録者数	25,656人
年間貸出冊数（H24）	417,462冊

目的・趣旨

「読書のまちづくり日本一」を目指している本市では、図書館が生涯学習社会を推進するために、市内のすべての学校を対象に読書・学習支援を行い、言語力の育成につながる読書環境の整備充実を図っている。

取組概要

昭和62年の開館以来、各学校に配置されている学校司書を窓口として、学校支援に取り組んでいる。

平成14年度に電算と物流のネットワーク化をし、平成22年度には市立図書館と学校の一体化した蔵書管理システムが完成した。

平成18年度から設置された学校図書館支援センター（教務課所管）と連携している主な事業の例

- 読書・学習支援図書等の提供
- 学校、教務課、図書館との合同会議（各学期ごと、年3回）
- 学校図書館・市立図書館合同視察（夏休み、年1回）



平成25年度、豊後高田市への合同視察の様子

特徴

- 1枚の利用カードで市立図書館・移動図書館と学校図書館を利用できる。（児童・生徒も学校以外では小郡市民）

小郡市立図書館の利用カード⇒



- 市の予算で、県立高校、私立専門学校に電算システムを無償で提供し、小中学校、市立図書館も包括したネットワークを組織している。書誌データはTRCマークに一元化し、相互貸借の物流管理を見える化している。
- 毎週火・金曜日に年間80回ほどのメール便を運行し、1万冊以上の物流を支えている。

小郡市立図書館ネットワーク （市内図書館・学校図書館）



電算と物流のネットワーク図



電算と物流のネットワーク図

取組の成果と今後について

○取組の成果 学校図書館支援センターを通じて、学校図書館との連携が深まり、学校司書と顔が見えながらの支援が浸透している。

○今後の課題 学校支援が進むにつれて、図書館から提供した資料の有効性を検証する必要性が高まっている。さらなる効果的な資料の利活用と選書が求められる。